

通常砂防事業事前評価調書

路線・河川等名	水坂川	事業名	通常砂防	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	福知山市夜久野町水坂		
事業概要	目的	水坂川は福知山市北西部に位置し、地区避難所である水坂公民館、人家28戸、JR西日本山陰線上夜久野駅を保全対象とする危険溪流である。重要交通網であるJR山陰線が土砂災害警戒区域内にあり、地元からの要望も強く、砂防堰堤を整備し、土砂災害から地域の安全を確保する必要がある。			
	内容	砂防堰堤 : N=1基 全体事業費: 約3.5億円			
	上位計画等	明日の京都 社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	保全対象には、人家28戸、JR山陰線が含まれ、土石流が発生した場合、地域住民に与える影響は大きい。			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	土石流等の土砂災害から下流に存在する人家、公共施設を守り、人命を保全する事業であり、投資効果は大きい。			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	砂防堰堤を効率的に配置し、施設の規模を抑制することで、地形の改変を避け、自然環境への負荷軽減に努める。 また、現地発生土を他工事に積極的に流用調整することで他工事を含めた総事業費のコスト縮減を図る。			
総合評価	本事業は、土砂災害からの人命保護及び地域の安全確保の観点から、新規事業着手の必要がある。				

ゆらがわすいけい みすさかかわ
由良川水系 水坂川 通常砂防事業
 ふくちやまし やくのちょうみすさか
 福知山市 夜久野町水坂

◎事業目的

当該箇所は、福知山市西部に位置し、流域面積0.19km²からなる溪流である。渓流域は、荒廃した山肌や立木の倒木が見られ、被害想定区域内には、JR西日本山陰線及び地区避難所（水坂公民館）がある。また、既存施設においては築40年経過し、異常出水における構造物の安全性が確保されていない状況にある。このため、既存施設を活用し、保全対象を守るため、事業を進める。

◎ 事業概要

全体計画	H30年度までの実績	R元年度計画
事業概要： 測量設計調査、用地補償、砂防えん堤、前庭擁壁、溪流保全、管理用道路 事業費：約350百万円	事業費： 百万円	地形測量、地質調査 事業費：5百万円

位置図

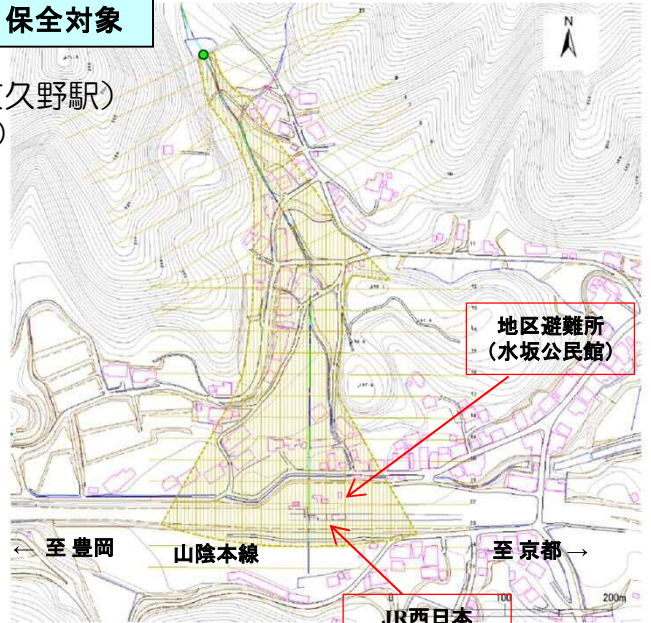


水坂川

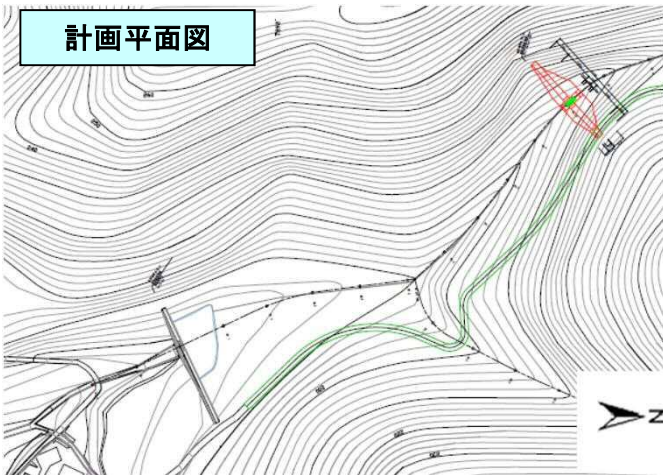
◎保全対象

JR西日本山陰本線（上夜久野駅）
 水坂公民館（地区避難所）

保全対象



計画平面図



溪流荒廃状況



『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	令和元年 7月 12日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	水坂川 通常砂防事業		地区名	福知山市夜久野町水坂	
概算事業費	約3.5億円		事業期間	2019年度～	
事業概要	砂防堰堤1基				
目指すべき環境像	<p>事業箇所周辺は山間部であるため、自然環境の保全が重要であり、事業実施に当たっては、自然環境に与える影響を可能な限り小さくするよう配慮する。</p> <p>また、土砂災害の発生を防止する事業であり、地域住民の安心・安全を確保するとともに、動植物の生育環境と長期的な景観の保全により、地域の生活環境の保全に寄与する。</p>				
関連する公共事業	なし				
評価項目			施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点		選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)		<p>溪流が荒廃しており、渓床には不安定な土砂、流木が堆積しているため、荒廃の進行を防止し、それに伴う溪流周辺の地形の保全を図る必要がある。</p> <p>市内で指定希少野生生物が確認されている。</p>	<p>砂防堰堤工及び流路保全工を整備することで、土砂災害の原因となる溪流の土砂移動を抑止し、現地地形の保全を図り、生態系の維持に寄与する。</p> <p>野生生物の個体の生息又は生育への環境を最小限となるよう配慮する。</p>	
	地形・地質	○			3
	物質循環(土砂移動)	○			4
	野生生物・絶滅危惧種	○			3
	生態系	○			3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン		<p>溪流下流に人家等が位置しているため、工事期間中は工事車両による騒音・振動を抑制する必要がある。</p> <p>また、建設発生材を極力リサイクルする必要がある。</p>	<p>工事実施中は、低騒音・低振動機械を使用することを原則とする。</p> <p>また、建設発生材は当該工事や近隣の公共工事や民間工事と調整し、再利用に努める。</p>	
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			3
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	○	<p>豊かな自然環境が存在することから、地形の改変を最小限に止める必要がある。</p>	<p>効率的な施設配置によって、地形の改変を最小限にするよう努める。</p> <p>地域住民に対して行う工事説明会等は、防災に対する意識向上を図り、地域住民との協働につながるよう検討する。</p>	3
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働	○			4
	その他				
外部評価					